

このページでは、「いっしょに！ OSAKINI プロジェクト」と題して、2021年4月に設立された大崎町SDGs推進協議会

(参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そののまち、株式会社南日本放送、合作株式会社)の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI PROJECT

VOL. 04

こんにちは、協議会の中垣です！ みなさんはどんな秋の時間をお過ごしですか？ 私は釣りが趣味なので、ブリを釣って美味しく食べたいなと……わかりやすく食欲の秋です！ 9月で協議会ができて半年。この6ヶ月間、どんなことをやってきたのか、これからどんな取り組みを始めるのか、詳しくご紹介します。



◀ 中垣 堯 (なかがき なる)
事務局 広報/PR担当
所属：合作株式会社

1 オンラインツアーを開催しました



7月と9月にオンラインツアーを開催しました。埋立処分場、有機工場、そおりサイクルセンターや資源ごみの日の様子を動画で配信し、リサイクルを始めた背景や目的をご紹介します。Zoomというアプリを使い、実際に現地を訪れたような気分を味わっていただけます。参加者からは、学びもあり楽しかったというお声を多くいただきました。今後も定期開催します。

2 教員向け研修をおこないました



7月29日(木)に町内の小中学校の教員の方々に向け、教員研修をおこないました。リサイクルに関する施設を見学し、最後は子ども達向けに、社会科見学の内容を組み立てるといった内容です。先生方からもご好評で、私たちにとっても「子どもたちに大崎町のすごさをどう伝えるか」を考える機会になりました。今後も、様々な教育分野で活動していきます。

3 ヤフー株式会社からの寄附を受け新しいこと始めます



8月24日(火)にYahoo!JAPANのカーボンニュートラル[※]をテーマにした企業版ふるさと納税の寄附先に、大崎町が選ばれ、たくさんのメディアにも注目いただきました。この寄附は、協議会の以下の3つのプロジェクトを進めるために活用されます。

- ・研究者や研究機関と一緒に、リサイクルの過程でどれくらい温室効果ガスが排出されているのか調査し、大崎のリサイクルシステムの検証をおこなう
- ・調査結果をもとに、環境にやさしい大崎町の取り組みを、他エリアにお手本にしてもらう
- ・分別が楽になるような商品開発や仕組みの設計を、いろいろな企業さんと協力しておこなう

すでに何名かの研究者の方々、企業の方々と打ち合わせをしている段階です。秋には、ご協力いただける方をより幅広く集めるために、全国から研究者・企業・自治体等を公募し、仲間を増やします。

※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること(環境省脱炭素ポータルサイトより引用)

ACTIVITY REPORT
最新の活動報告